

その他の疾患:

現在の投薬:

薬物に関する注意点

私は MG を患っているため、特定の薬を処方すると悪化するリスクがあります。**この緊急疾患カードに記載されている「薬物に関する注意点」を確認してください。**薬に関する質問については、私の MG 担当医に連絡してください。

氏名

電話

または

かかりつけの医師または薬剤師にご相談ください。MG 患者において、時折、薬剤の追加が筋力低下を悪化させることが報告されています。MG 患者と医師は、新しい薬が処方される時はいつでも、悪化の可能性に注意する必要があります。

MG の薬物の影響に関する詳細な最新情報は、私たちのウェブサイト myasthenia.org からご覧ください。



© Myasthenia Gravis Foundation of America, (MGFA) www.myasthenia.org

2020 年改訂

！緊急疾患カード！

私は重症筋無力症 (MG) 患者です。

これは、体が衰弱し、立ったり、はっきりと話したりすることが困難になる病気です。さらに、まぶたが垂れ下がったり、物が二重に見えたり、呼吸や嚥下が困難になったりすることもあります。時々これらの症状は 酩酊や薬物中毒と間違えられることもあります。

呼吸困難や嚥下困難がひどい場合は、「MG クリーゼ」に陥っている可能性があります。

私に助けが必要だと思われる場合は、私の緊急連絡先と 911 に電話してください。

私の氏名:

生年

住所

都市

州/都道府県

郵便番号

電話

または

緊急連絡先

氏名

関係

電話

または

ファーストレスポンス管理用

重度の呼吸困難

(安静時の息切れ、短い言葉以外では話するのが難しい、不安、落ち着きのなさ、空気飢餓感、疲労、横になれない、弱い咳などの症状):

- ・ 気道を開いた状態に保ちます。
- ・ 溜まった口腔分泌物を吸引します。
- ・ 必要に応じてアンブス生バッグで呼吸補助するか、可能であれば非侵襲的換気 (NIV) を行ってください。
- ・ MG の呼吸困難は横隔膜の衰弱に関連しています。パルスオキシメトリでは、呼吸状態を確実に測定できません。

重度の嚥下困難

(窒息、えずき、鼻からの逆流、および食べ物、薬、唾液を飲み込めないなどの症状):

- ・ 窒息しそうになっている場合は、口を開けて目に見える食べ物のかけらを取り除いてください。
- ・ 異物 (食物を含む) の気道閉塞が疑われる場合は、ハイムリック法を行ってください。
- ・ 気道を開いた状態に保ちます。
- ・ 溜まった口腔分泌物を吸引します。
- ・ 患者の安静を保つため、落ち着いて行動してください。
- ・ 意識がある場合は、患者をまっすぐに座らせます。

MG の薬物に関する注意点

- ・ **テリスロマイシン:** 市中肺炎に対する抗生物質。米国食品医薬品局は、MG に含まれるこの薬剤を「ブラックボックス (黒枠)」警告に指定しています。**MG 患者に使用しないでください。**
- ・ **フルオロキノロン** (例: シプロフロキサシン、モキシフロキサシン、レボフロキサシン): 一般的に処方される広域スペクトルの抗生物質で、MG の悪化に関連付けられています。米国食品医薬品局は、MG に含まれるこの薬剤を「ブラックボックス (黒枠)」警告に指定しています。**使用する場合は、注意して使用してください。**
- ・ **ボツリヌス毒素:** 使用しないでください。
- ・ **D-ペニシラミン:** ウィルソン病に使用され、まれに関節リウマチに使用されます。MG 発症の原因と強く関連付けられています。**使用しないでください。**
- ・ **クロロキン (アラレン):** マラリアやアメーバ症に使用されます。MG を悪化させたり、誘発する可能性があります。**注意して使用してください。**
- ・ **ヒドロキシクロロキン (プラケニル):** マラリア、関節リウマチ、狼瘡に使用されます。MG を悪化させたり、誘発する可能性があります。**注意して使用してください。**
- ・ **キニーネ:** 下肢痙攣に使用されることがあります。米国ではマラリア以外に対する使用が禁止されています。
- ・ **マグネシウム:** 妊娠後期の子癇や低マグネシウム血症などで、静脈内投与すると危険性があります。**絶対に必要な場合にのみ使用して悪化しないか観察してください。**

- ・ **マクロライド系抗生物質** (例: エリスロマイシン、アジスロマイシン、クラリスロマイシン): グラム陽性菌感染症に対して一般的に処方される抗生物質。MG を悪化させる可能性があります。**使用する場合は、注意して使用してください。**
- ・ **アミノグリコシド系抗生物質** (例: ゲンタマイシン、ネオマイシン、トブラマイシンなど): グラム陰性菌感染症に使用されます。MG を悪化させる可能性があります。**代替治療法がない場合は注意して使用してください。**
- ・ **コルチコステロイド:** MG の標準治療薬ですが、最初の 2 週間中に一時的に悪化することがあります。悪化の可能性を**注意深く監視してください。**
- ・ **プロカインアミド:** 不整脈の治療に使用されます。MG を悪化させる可能性があります。**注意して使用してください。**
- ・ **デスフェロキサミン:** ヘモクロマトーシスに使用されるキレート剤。**MG を悪化させる可能性があります。**
- ・ **ベータ遮断薬:** 一般的に高血圧、心臓病、片頭痛に処方されますが、MG 患者では危険性があります。MG を悪化させる可能性があります。**投与にあたっては十分な注意が必要です。**
- ・ **スタチン** (例: アトルバスタチン、プラバスタチン、ロスバスタチン、シンバスタチンなど): 血清コレステロール値を下げるために使用されます。MG を悪化させたり、誘発する可能性があります。**適応がある場合は慎重に使用し、最小限の用量で投与してください。**
- ・ **X 線ヨード造影剤:** 古い報告では MG の筋力低下が報告されていますが、最新の造影剤はより安全であると考えられています。**注意して使用し、悪化しないか観察してください。**